



施政方針 平成29年度

平成29年第1回熊野町議会定例会において、町長が平成29年度の施政方針を述べました。
町政運営に対する所信と施策の概要をお知らせします。

(財務課)

【はじめに】

平成29年度の予算案並びに諸案件のご審議をお願いするに当たり、私の所信および町政の基本方針を申し述べます。

【町を取り巻く諸情勢】

我が国の景気は、安倍内閣によるアベノミクスの取り組みの下、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いていますが、国の取り組みの効果は未だ地方にまで行き渡っていない状況とも言われています。

また、国は人口減少・少子高齢化に対応した、働き方改革や女性の活躍など「一億総活躍の国創り」を打ち出し、引き続き「地方創生」を重要課題に位置付けています。

【重点的な取り組み】

第5次熊野町総合計画・後期基本計画において、「定住・交流人口」拡大のためのブランドの確立という、新たな視点で盛り込んだ「ブランド戦略」を推進するため、事業の「選択と集中」を図ります。特に、「暮らしの基盤を整ったまちづくり」、「日常生活を快適に暮らせるまちづくり」、「子どもが健やかにたくましく育つまちづくり」、「安全に安心して暮らせるまちづくり」を重点的に推進します。

「地方創生」のための取り組みについても、旧西公民館の改修等を行い、「子育て支援」、「移住・定住情報発信」、「就業支援」等の拠点として活用する多機能施設

を整備し、子育てサポート体制の充実や移住・定住の推進、地域の賑わいの再創出を図ります。

【各部門の取り組み】

〔総務部門〕

本町は平成30年に町制施行から100周年を迎えるため、記念式典をはじめとする多彩なイベントを実施するための準備を進めます。
安全に安心して暮らせるまちづくりでは、多発する自然災害への備えを強化するため、老朽化した防災行政無線をデジタル方式に更新するための準備事業に着手します。

土砂災害防止法に基づき警戒区域等が指定される第四小学校区については、新たなハザードマップを作成します。また、都市再生整備計画事業の一環事業として、旧西公民館跡地に、防災活動拠点、地域住民の憩いの場を整備します。
筆産地の歴史と文化を生かした出会いと交流のある

まちづくりでは、筆の里工房の音響設備の改修、空調改修工事実施設計業務、常設展示設計業務を行います。

【民生部門】

定住交流の促進では、芸術系大学、大学院の学生、院生を迎え「筆づくりのまち体験事業」を実施します。
商工振興事業では、くまの産業団地で操業を開始された事業所に対し、企業立地奨励金を交付し、町内からの雇用についても奨励金を交付し、雇用拡大を図ります。

子育ての一層の推進を図るため、妊娠婦等の状況を継続的に把握し、妊娠前から妊娠・出産・育児支援等の切れ目のない支援をワンストップで行う「子育て世代包括支援センター」を開設します。また、妊娠期から産後にかけて家事援助が必要な家庭にヘルパー派遣を行う「産前・産後ヘルパー派遣事業」を開始します。

健康づくりでは、熊野町

生活困窮者自立支援事業では、相談支援、住居確保給付金の支給に加え広島市と連携した「子どもの学習支援事業」に取り組みます。

高齢者施策では、「地域包括ケア」の推進のため、自助・互助の観点からの取り組みを強化し、高齢者の社会参加活動の促進を図ります。「介護予防・日常生活支援総合事業」も引き続き実施し、高齢者施策の基本となる、第7期の「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定します。

環境対策では、缶・びんなどの収集を隔週から毎週1回に変更します。また、公衆衛生活動を実施する団体や、小型浄化槽の設置に対する補助金の交付を引き続き実施し、ごみの資源化および公共用水域の水質保全を図ると共に町民の環境意識の高揚に努めます。

消費者対策では、継続的な週2回の相談窓口の確保に努め、広く住民への被害

を未然に防ぐため、啓発や情報提供をより充実させ、体制強化に取り組みます。

〔建設部門〕

町内の県道整備では、「県道矢野安浦線」の川角地区から呉地地区までの「現道拡幅及びバイパス事業」、「県道瀬野呉線」の新宮地区における「交通安全施設等整備事業」および「深原地区のバイパス事業」で引き続き用地取得及び工事が実施されます。また、平成28年度から実施されている「県道矢野安浦線」、熊野町役場前交差点から阿戸別れ交差点の間の渋滞対策については、用地測量等が予定されています。これらの県道整備については、県と連携し早期完了を目指します。

雲母川砂防事業では、引き続き用地買収が行われるとともに、工事用道路の工事に着手の予定です。

町道の整備では、「呉出来線」の横ヶ迫交差点付近の狭隘部分の拡幅および「出来中

溝線」と「熊野北豊道」との交差点改良工事について、工事に着手します。

道路インフラの老朽化対策では、予防保全の観点から計画的に補修工事を実施します。「都市再生整備事業」として継続的に実施している熊野団地内の側溝整備については、計画の残り部分を引き続き整備します。

林業振興対策は、引き続き「ひろしまの森づくり事業交付金」を活用し、荒廃する里山の整備を行うほか、「都市再生整備事業」では、東山地区の消防団屯所と車庫をポケットパークとして再整備します。

子育て世代「住むならくまの」応援事業の実施は、引き続き、子育て世代の定住を促進するため交付金を支給し、人口の維持、地域の活性化を図ります。

本町で初めて土砂災害警戒区域が指定されることから、特別警戒区域内の既存建築物の改修費の一部を補

健康増進計画「健康くまの21」、「食育推進計画」を基に、自らが取り組む健康づくりを支援します。

健康管理については、住民健診で土・日曜の実施や託児、乳がん・子宮頸がんの女性ががん検診を医療機関で個別に検診できる等、受診しやすい体制を整え、健診受診率の向上を図ります。また、「熊野町データヘルス計画」を基に、腎症重症化予防教室等の各種健康教育、相談事業を充実します。

感染症対策では、感染症および予防接種の正しい知識の普及啓発、接種勧奨を継続実施し、予防接種の接種率の向上に努めます。
障害者施策では、障害者総合支援法に基づき、利用者一人ひとりに対しサービ

ス利用計画を作成し、きめ細かな対応を行います。また、「障害者保健福祉計画」および「第4期障害福祉計画」の、次期計画を策定します。

今後のICT教育の充実に向けた環境整備を図ります。
安全・安心な教育環境の整備では、繰越事業として、熊野東中学校普通教室棟大規模改修工事を実施します。また、熊野第一小学校東校舎の大規模改修工事に係る実施設計業務を行います。

生涯学習の分野では、熊野町民会館施設の老朽化が著しいため、空調設備改修工事のほか、駐車場の整備工事を行います。また、東公民館の建て替えについても、事業に取りかかります。

社会体育・生涯スポーツの分野では、町民グラウンドの雨水排水機能等の抜本的な改修工事に向けた実施設計業務を行います。また、公認グラウンドゴルフコースの整備に向けて基本設計を策定します。

【おわりに】
今後も、住民の視点に立ち、「第5次熊野町総合計画」および「総合戦略」に沿ったまちづくりに全力を傾注してまいります。